

令和二年度 一般選抜(前期日程)

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、表紙を含めて7ページあります。また解答用紙2枚と下書き用紙2枚が配付されています。試験中に問題冊子や解答用紙、下書き用紙の印刷不鮮明、ページの落丁、乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入しなさい。
 - (1) 受験番号欄
 - (2) 氏名欄
- 4 氏名、受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。
- 5 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰りなさい。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(小松秀樹、小松俊平、熊田梨恵編、『地域包括ケアの課題と未来 看取り方と看取られ方』、ロハス・メディカル、2015年から抜粋、一部改変)

問1 傍線部A認知症高齢者の「意味の世界」が壊れない配慮について、著者自身はどのように述べているのか。170字以内で記述しなさい。

問2 傍線部B生活の場に向いて支えようについて、具体的にはどのように支えることなのか。100字以内で述べなさい。

問3 傍線部C入院を経由すると生活の場に戻しにくいについて、著者が何故そう述べているのか、その理由を本文の文章を用いて300字以内で述べなさい。

問4 高齢者の認知症にどのように向き合っていけばよいのか、これから保健医療を学び医療専門職を目指すようとしているあなたの考えを、本文を参考にしながら300字以内で論じなさい。

採点のポイント

問1

問題文および設問の正確な理解として

要素1 「意味の世界に入ってあげる」または「意味の世界に入る」、「相手の世界に入る」等の、認知症高齢者の「世界」を共有することの必要性についての記述が記されていて、妥当な論述であるか

要素2 認知症高齢者の誇りを保つための具体的な行動のキーワード、①「敬語を使う」③「ゆっくり話す」④「逆らわないまたは否定しない」⑤「笑顔であること」

⑥「適切に触る」が含まれているか？ の二つの観点で採点しています。

問2

解答内容の妥当性として

・要素1 「医療職」「多職種」「ケア・マネージャー」等の総称が含まれているか

・要素2 「医師」「看護師」「保健師」「理学療法士」「作業療法士」「ソーシャルワーカー」などの専門職の固有名詞が含まれているか

・要素3 「自宅」「生活の場」「施設」などの居住する場の名称が含まれているか

・要素4 解答例の主旨との合致度の妥当性

これら4つの観点で採点しています。

問3

「入院を経由すると生活の場に戻しにくい」理由の読み取りとして、次の4つの理由が含まれているか？ および文章の妥当性について採点しています。

理由(㉑) 認知症が治らない病気であること

理由(㉒) 自宅は家族がうけ入れたがらない。

理由(㉓) 高齢者施設は満床、待機期間が長い。

理由(㉔) 進行した認知症は家族の負担が多い。

問4

次の要素について、回答に含まれる程度と妥当性について評価しています。

・本論文から読み取る「認知症患者」の正確な理解

・将来の医療職者としての認知症高齢者に対する支援、ケアの内容